

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	いまきいれ子ども発達支援センターまある			公表日	2025年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・十分なスペースを確保しています。	・行事の時は参加者が多いとスペースが狭いため、感染対策を考慮して人数調整を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・子ども達が集中し活動に取り組むことができるように視覚的刺激が少ない空間となっています。 ・定期的に清掃を実施し清潔な空間を心がけています。	・親子通園のため人数が多い時があり、環境的に配慮した対応を今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・もりの部屋(静養室)を利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職員間で話し合いをすぐにできるような体制を図っています。 ・個別支援会議や職員会議を利用し、職員間で情報共有を行い意見交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年1回の保護者向け評価を行い、その意見を反映できるように業務内容の見直しを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・カンファレンスや職員会議などを定期的に開催しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・年に1回、第三者委員を招いて活動にも参画して頂き、幅広い意見をきく機会を設けています。	第三者による外部評価に関しては、今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修をする機会を多く設けており、法人内のほかに外部研修や学会参加等、様々な研修に参加することができます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・園内掲示及びいまきいれ総合病院ホームページにも公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを定期的実施し、子どもたちの発達状況を把握するだけでなく、保護者との面談からニーズや今後の見直し等をふまえて作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援会議を行い、職員間で情報共有を図り、様々な意見をだしながら、子どもにとって最善の支援ができるよう心がけています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員間で共有され、計画に沿った支援が行われています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・子どもの発達を評価するツール(遠城寺式乳幼児分析的発達検査や新版K式発達検査など)を利用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域を念頭に具体的な支援内容を考慮しながら、計画作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは各クラスの担当職員同士で話し合いながら立案しています。また行事活動に向けては全職員で内容を検討しながら立案しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間行事にそった活動も多く、様々な活動を取り入れながら工夫しています。		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの発達や今後の方向性を見ずえて、最適な支援となるよう個別や集団、給食支援等組み合わせ提供しています。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に職員間で必ず打合せを行い、支援の確認を行いながら情報共有を行っています。 ・またクラス以外の職員にも情報共有を行うため、終礼などで報告を行っています。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動後に職員間で必ず振り返りを行い、気付いたことや適切な支援ができたか、工夫すべき点はないかなどを共有し、クラス以外の職員にも情報共有できるように報告を行っています。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回実施しています。 	
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にもモニタリングを行い、適切な見直しを行っています。 	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・併行通園している事業所も参加してもらい、会議を実施しています。 ・リハビリ施設や保育園等との連携を1回/3ヵ月行っています。 	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・いまきいれ総合病院や保健師、各機関との情報交換を定期的に行い、情報の共有や連携を図っています。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や保護者の意向をふまえながら、併行利用や移行に向けての支援を行っています。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の児を対象としていないため、その年齢の児はいませんが、研修や情報交換をほか事業所と行い、理解に努めています。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地区割担当の事業所等向けに研修会を年3回行っています。その際に意見交換会や交流の場を設け、連携を図っています。 	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・他の発達支援センターでの研修や公開療育に積極的に参加しています。 ・外部講師を招いて「ペアレントトレーニング研修会」も実施しました。 	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てひろば・相談会」をA-COOPと協同で開催し、地域の子育ての一助となるよう支援しました。また「子育てサロンこあら」にも積極的に参加しています。 	
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・感染等を考慮し現時点では難しいですが、今後検討していきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各活動の際に、これまでの経過や次のステップについて話し合いを行っています。 ・職員と保護者と時々相違もありますが、共通理解を持てるよう適宜相談支援を行っています。 		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援者側には実施しましたが、保護者向けには実施していません。ペアレントトレーニングで学んだことを家族支援に活かすよう努めています。 		
保護者への説明	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明するよう心がけています。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、面談を行っています。 ・家族の願いや意向を確認しながら、計画作成しています。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が書かれる「前日の様子」を通して、こまめに相談に応じています。 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・「父母の会(保護者会)」はありませんが、保護者同士での交流する機会は設けています。感染面を考慮しきょうだい同士での交流の場を設けていません。 	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・迅速に対応できるよう努めています。 	

等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・2か月に1回、「ぐんぐんだより」を発行しています。また行事の写真などを園内に掲示しています。 ・まあるのHPやSNSはありませんが、いまきいれ総合病院HP内に「自己評価」や「支援プログラム」の公表は行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・「子育てひろば」の開催や、地域の「子育てサロンこあら」に参加しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書はありませんが、適宜医師や栄養士との連携を図っています。 ・食事プレートで色分けしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・月1回の避難訓練を実施しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・職員全員で情報共有を図り、再発防止の話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止の研修会を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・カンファレンスを月1回っており、必要な対応であるかを検討しております。		